

教科(科目)	ガイダンス 1	単位数	1 単位	学科・学年・コース・組	1 年次
使用教科書	産業社会と人間 (準教科書; 学事出版)				
副教材等	手作りプリント				

1 学習の到達目標

単位制高校のしくみと特徴を知る。
自己理解を深め、将来の適性について考える。
進路の方向性について考え、適切な科目選択が行えるようにする。

2 指導の重点

単位制の授業の特徴を理解する。
職場や上級学校について知る。
2年次の選択科目をよく考え適切な科目選択をする。
自己理解を深め、自分の将来について考える。

3 学習の計画

	単 元 名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	学校を知る	ガイダンスノートにより指導	4	ガイダンスノート
	ガイダンス I とは	ガイダンスノートにより指導	1	自己評価
	考査前指導	考査時間割作成表・ガイダンスノート記入	1	出席状況
	学習計画	履修の手引き・科目説明会・個別指導・面談など	9	授業態度
後 期	進路講話	外部講師による進路講演会・ガイダンスノート記入	2	
	K J Q	K J Q ワークブック・調査用紙・ガイダンスノート記入	4	
	社会を知る	ガイダンスノートにより指導	1	
	スキー教室事前学習	全体集会およびガイダンスノートにより指導	3	
	集団生活を学ぶ	スキー教室における集団生活	6	
	スキー教室事後学習	スキー教室での行動をガイダンスノートにより振り返り	1	
	進路を考える	閲覧室の利用方法や履歴書の書き方など・ガイダンスノート	1	
	進路ガイダンス	進路別に相談・ガイダンスノートにまとめ	3	
	これからの学習計画	次年度の履修計画の確認・ガイダンスノート記入	1	
	レディネステスト	レディネステスト・ガイダンスノートによる振り返り	2	
社会人講演会	外部講師による講演会・ガイダンスノートにまとめ	1		

計 40 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

毎時間ガイダンスノートを記入し提出。

5 評価規準・評価方法

評価は次の 4 つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会問題・進路をふまえた科目選択、福祉体験、自己理解・自己分析などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	社会問題、進路をふまえた科目選択、福祉体験、自己理解・自己分析などについて思考を深め、適切に判断する能力を身に付けている。	社会問題、進路をふまえた科目選択、福祉体験、自己理解・自己分析などの学習活動を実践するとともにその成果を適切に表現することができる。	多様な選択科目の中から、卒業要件や進路をふまえた科目選択の方法について理解している。

6 担当者からの一言

自分自身を見つめ、適性を考えながら自己の進路にあわせた科目選択をします。また、さまざまな見学・体験をとおして社会との関わりを考えていきます。

教科(科目)	ガイダンスⅡ	単位数	1 単位	学科・学年・コース・組	2 年次
使用教科書	産業社会と人間 (準教科書；学事出版)				
副教材等	手作りプリント				

1 学習の到達目標

自己と社会の接点を知り、将来の方向性を定める。
希望進路実現のために適切な科目選択をする。
自己のあり方、生き方を考え、ライフプランをまとめる。

2 指導の重点

積極的に授業に参加する。
ガイダンスノートに真剣に取り組み、しっかりと提出する。

3 学習の計画

	単 元 名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	これからの学習	履修計画表により自分の時間割・教室の確認	1	ガイダンスノート
	ガイダンスⅡとは	ガイダンスⅡの学習内容について	1	自己評価
	進路について考える	ガイダンスノートの記入	1	出席状況
	アサーション①	ガイダンスノートの記入	1	授業態度
	適性検査	一般職業適性検査	3	
	学習計画	ガイダンスノート・科目説明会・個別指導・面談など	9	
後 期	社会を知る①	新聞記事を読む・ガイダンスノートの記入	1	
	進路講話	講師による講話・ガイダンスノート記入	2	
	アサーション②	ガイダンスノートの記入	2	
	進路活動 (自己理解)	ガイダンスノートの記入	4	
	一般常識	高校生・社会人としての常識について。	1	
	進路活動 (進学・就職)	ガイダンスノートの記入	1	
	進路活動 (履歴書)	ガイダンスノートの記入	2	
	これからの学習	次年度の履修計画の確認	1	
	社会を知る②	環境問題について考える	2	
	進路ガイダンス	進路別の相談会	3	

計 35 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

毎時間ガイダンスノートを記入し提出する。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会問題・進路をふまえた科目選択、自己理解・自己分析などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	社会問題、進路をふまえた科目選択、自己理解・自己分析などについて思考を深め、適切に判断する能力を身に付けている。	社会問題、進路をふまえた科目選択、自己理解・自己分析などの学習活動を実践するとともにその成果を適切に表現することができる。	多様な選択科目の中から、卒業要件や進路をふまえた科目選択の方法について理解している。

6 担当者からの一言

より豊かな人間性を身に付けるために、様々な内容の授業が行われます。自己理解・自己分析をし、適性を考えながら進路を考えます。そのために必要な履修計画をたててください。また、見学や体験等をとおして社会との関わりを身につけていきます。

教科(科目)	ガイダンスⅢ	単位数	1 単位	学科・学年・コース・組	3 年次
使用教科書	産業社会と人間 (準教科書 ; 学事出版)				
副教材等	手作りプリント				

1 学習の到達目標

社会との関わりを考え自己の生き方あり方を考える。

- ・ 自己理解を深め、自分の進路を実現する。
- ・ 社会人として必要となる学習と準備を行う。

2 指導の重点

- ・ 積極的に授業に参加する。
- ・ ガイダンスノートをきちんと完成させる。

3 学習の計画

	単 元 名	学習活動(指導内容)	時数	評価方法
前 期	これからの学習	履修計画表により自分の時間割・教室の確認	1	ガイダンスノート
	ガイダンスⅢとは	ガイダンスⅢの学習内容について	1	自己評価
	面接トレーニング①	年次担当や外部講師による面接の基本 など	3	出席状況
	進路活動・意識啓発セミナー	進路手続きの確認とハローワーク職員によるセミナー	3	授業態度出席状況
	人権学習	就職差別について考える	2	
後 期	面接トレーニング②	年次担当や外部講師による面接実践など	1 1	
	進路相談	進路別の 相談会	1	
	社会を知る	ボランティアについて考える	2	
	一般常識	一般常識問題を解く	2	
	労働ワンポイント講座	ハローワーク職員による講座	1	
期	環境問題・国際問題に	ガイダンスノートの記入	2	
	巣立ち教室	金融広報アドバイザーによる講話	2	

計 35 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

ガイダンスノート

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
「進路の決定・実現にむけて」、「社会を知る」、「より豊かな人生を送る」などに関心を持ち、意欲を持って学習活動に取り組んでいる。	「進路の決定・実現にむけて」、「社会を知る」、「より豊かな人生を送る」などについて思考を深め、適切に判断する能力を身につけている。	「進路の決定・実現にむけて」、「社会を知る」、「より豊かな人生を送る」などの学習活動を実践するとともに、その成果を的確に表現することができる。	卒業要件や進路決定、実現の方法、手順について理解している。社会人として知っておかなければならないマナーを理解する。

6 担当者からの一言

ガイダンスⅢは、卒業後の展開にそなえて授業がより具体的な内容で行われます。全ての授業を自分のこととして真剣に取り組んでください。